

# 若林城に引き入れた六郷堀を発見！

仙台市教育委員会 平成25年11月2日（土）

- 〔遺跡名〕 若林城跡（わかばやしじょうあと）
- 〔調査地〕 仙台市若林区古城（宮城刑務所内）
- 〔調査理由〕 宮城刑務所全体改築に伴う調査
- 〔調査期間〕 平成25年5月27日～12月20日（予定）
- 〔調査面積〕 2,060㎡
- 〔調査主体〕 仙台市教育委員会
- 〔調査担当〕 仙台市教育委員会文化財課



南側上空から見た若林城跡（平成17年撮影）

## 若林城ってこんな城

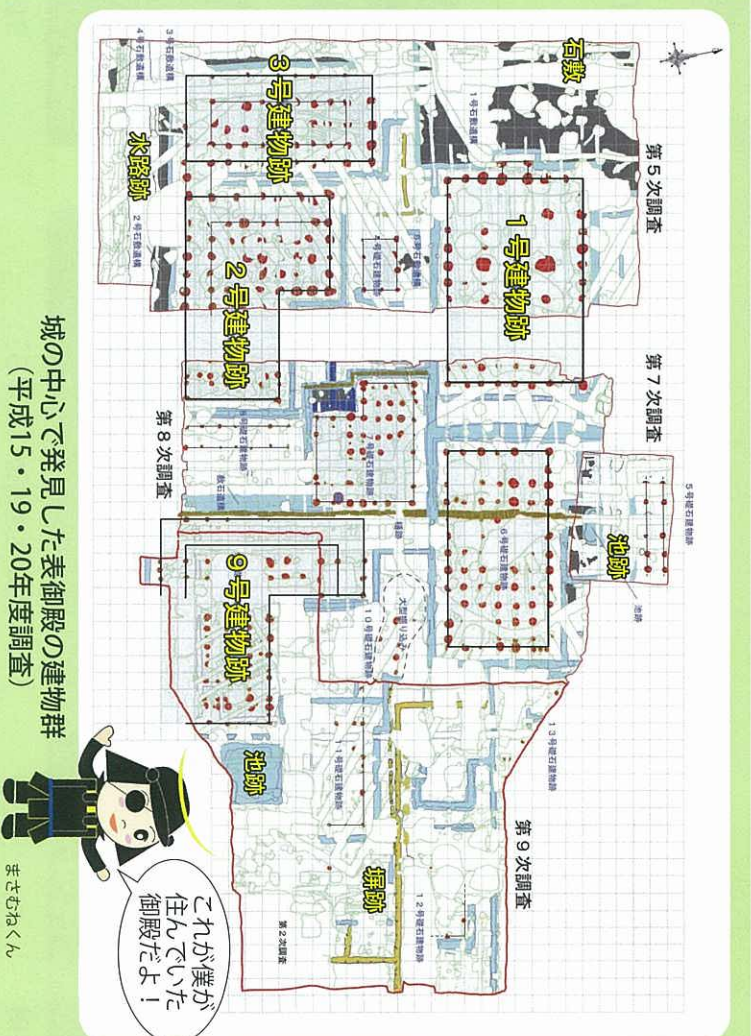
若林城は仙台藩祖伊達政宗が仙台城築城後の**寛永5年（1628）に「仙台屋敷」として造営した城**で、晩年の政宗はこの若林城を仙台での居所としました。寛永13年（1636）に政宗が死去すると、遺言により城は廃絶され、『伊達治家記録』によると、城内の多くの建物は寛永15年（1638）に二代藩主の忠宗が造営した**仙台城二の丸に移築**されました。その後、城跡は**藩が営む薬園**となり、明治12年（1879）に宮城集治監が置かれました。

城跡の規模は東西420m、南北350mもあり、本丸部分としては**他の大名の居城にも匹敵する広さ**があります。周囲には高さ約5mの土塁と外側には幅約20mの堀跡が巡り、土塁や門の配置から、戦を意識した城とも言われています。

## ここまでわかった城の姿

平成17年から20年の城の中心部で行った発掘調査では、大規模な整地土の上に、複数の大型建物跡や広範囲の石敷きなどを発見し、**表御殿の存在が初めて明らかとなりました**。また塀で区画された**城内の北東部は奥御殿があったと推定**されています。さらに北東隅に掘られたゴミ穴からは、多数の土器などが出土しました。

これまでの調査で発見した大型建物跡のうち、1号と3号の建物跡は、仙台城二の丸の初期の姿を描いた「御二之丸御指図」の中に描かれ、「大台所」と「焼火間」として移築された**建物の跡であることが判明**しました。このことは文献記録と発掘調査の成果が一致した貴重な例といえます。



## 今年の調査でわかったこと

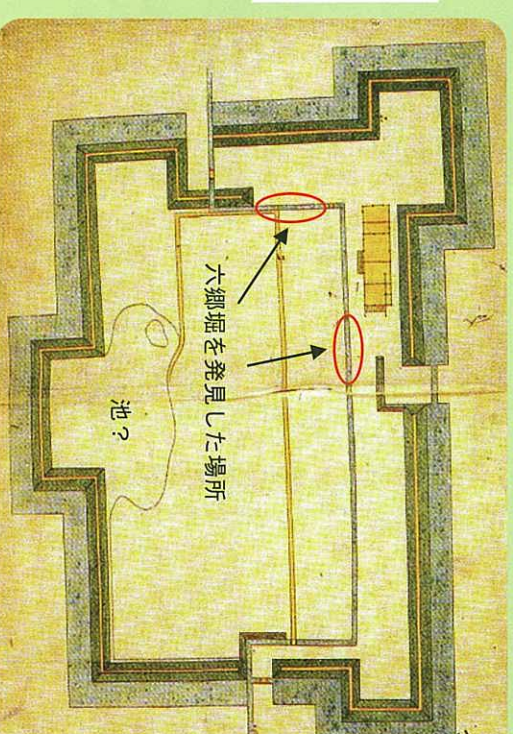
城の北西部で行った今年の調査では、若林城の建物跡の他に、六郷堀の一部や廃城後に造られた薬園の施設とみられる建物跡などを発見しました。

### （1）薬園にかかわるもの

●**城内に引き入れた六郷堀**  
現在の六郷堀は、宮沢橋近くの広瀬川から取水し、河原町を通って城跡の北側をまわり、市南東部の水田に水を引いています。近世の絵図からは、六郷堀の水が城を囲む堀に入れられたと共に、城内にも分けられていたことがわかります。

調査では六郷堀の跡を3か所で確認しました。堀の壁は石積みで、底に石を敷いた所もあります。堀の深さは約1.7mですが、幅は初めが1.5m程度（5尺）だったのが、後には2m程度に改修されています。壁石の裏側には石垣同様に玉石を詰めており、これを含めた堀の掘り幅は5m以上にもなります。

六郷堀がいつ頃造られたかは記録がありませんが、かつて城内の南側には大規模な庭園や池があったと推定されることから、城の造営と同時だった可能性もあります。城内の六郷堀は明治に入ると、集治監の設置に伴い埋められたと考えられます。



### ●礎石建物跡と整地土

1区では、薬園の畑の層の下に厚さ20cmもの整地土が敷かれており、この整地土の上から礎石建物跡を1棟発見しました。建物は東西8間分（15.7m）、南北1間半分（3.0m）の確認ですが、これまで発見された御殿建物と同様に、礎石の上に柱をのせた構造の建物だったと考えられます。

薬園を描いた絵図（右上）には、薬園を管理したとみられる建物が1棟だけ描かれています。発見した建物もこのような施設だったとみられます。

### （2）若林城にかかわるもの

#### ●掘立柱建物跡と整地土

1区ではさらに薬園の整地土の下に、若林城を造る際に敷いた整地土を確認しました。整地土の厚さは60cmもあり、これまで確認した中では最も厚くなっています。整地土の上からは、掘立柱建物跡を1棟確認しました。御殿建物とは異なり、柱が掘立式であることや、建物が門から御殿にいたる途中に位置することから、倉庫や馬屋などの特殊な施設と考えられます。

### （3）若林城より古いもの

#### ●若林城造営により埋められた堀跡など

1区西端の若林城の整地土の下から、城と同じ南北方向の堀跡を発見しました。堀跡の幅は4m以上もあり、人為的に埋められています。堀の底近くには水が流れた跡があることから、若林城が造られる前に使用されていた水路とみられます。また3区では1区の堀跡と同じように埋められた河川跡の可能性もある大規模な窪みを発見しました。これらのことから、若林城はかつてこの地にあった水路や小河川、および大小の凹凸を大規模に埋めて造った城であることがわかりました。



六郷堀跡全景（北から）



新しい石組み

古い石組み

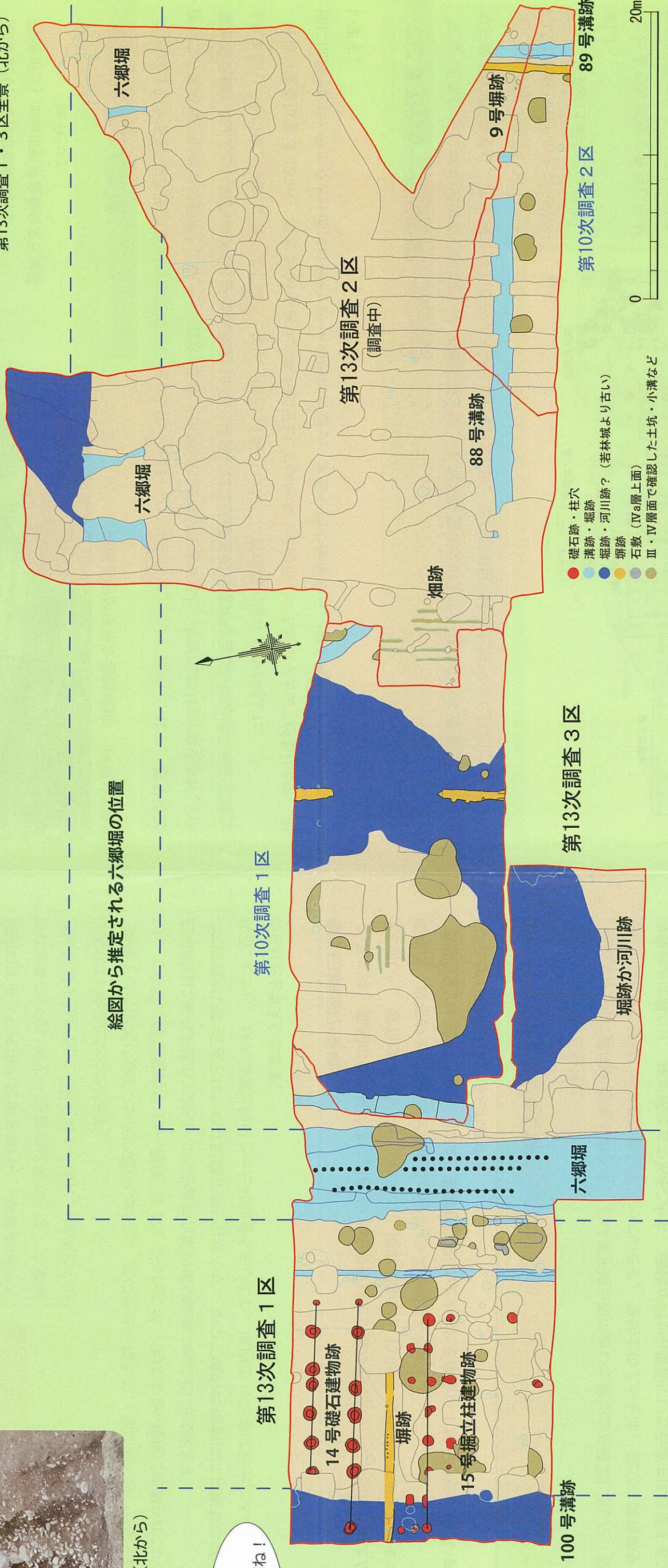
東壁の石組み（北西から）



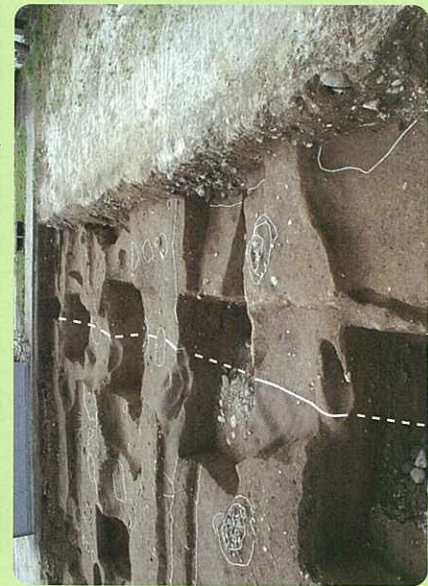
西壁の石組み（東から）



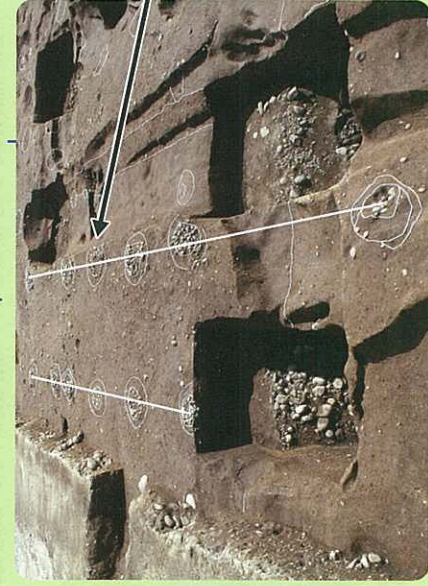
第13次調査1・3区全景（北から）



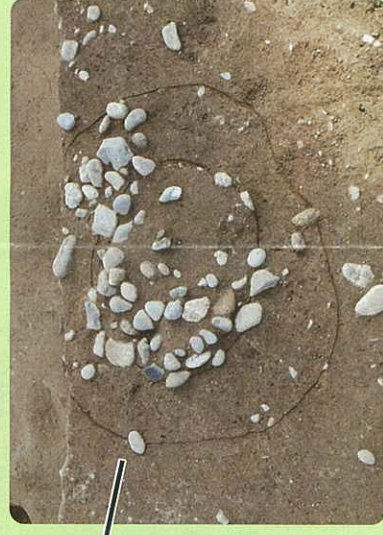
絵図から推定される六郷堀の位置



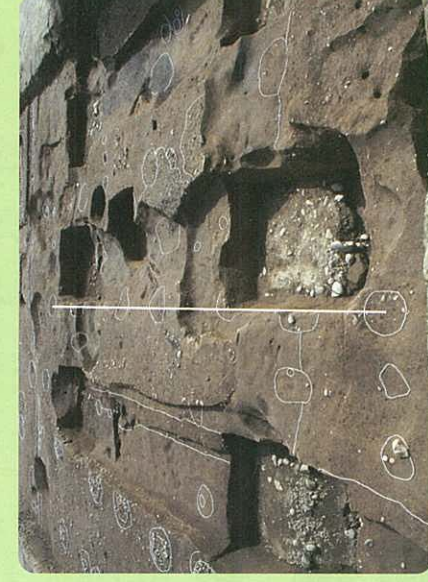
100号溝跡（北から）



14号礎石建物跡（西から）



礎石をすえた基礎



15号掘立柱建物跡（西から）



3区 堀跡か河川跡（東から）